

令和4年(2022年) 7月12日(火) 13921号



# 株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL: 06-6353-7831  
 FAX: 06-6353-7832  
 MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



## 銅建値は2万円引き上げの110万円

### 7月の月内建値平均は110万8,000円

JX金属は11日、電気銅建値を2万円引き上げの110万円にすると発表、同日より実施した。7月の月内建値平均は、110万8,000円。

9日に入電した直近のLME銅相場前場売値が7,790.00ドル。11日の東京市場の米ドルTTSレートは137.47円。この値で換算した採算価格は、107万0,800円。建値と採算価格から見た諸掛りは、2万9,200円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

#### 2022年

2月… 1160(1) 1180(3) 1190(9) 1210(16)	平均1193.3
3月… 1190(1) 1240(3) 1270(7) 1240(9) 1220(15) 1250(17)	平均1263.8
4月… 1310(1) 1340(6) 1320(12) 1340(14) 1360(19) 1370(22)	平均1336.5
5月… 1280(9) 1260(11) 1220(13) 1250(17) 1230(19) 1260(23)	平均1250.6
6月… 1270(1) 1340(7) 1360(9) 1330(13) 1290(15) 1260(17)	平均1270.0
7月… 1170(1) 1130(5) 1080(7) 1100(11)	平均1108.0



### 黄銅削粉買値は 19円引き上げの 813円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は11日、黄銅削粉買値を19円引き上げの813円にすると発表した。  
 今月4回目の改定。



## 亜鉛建値 1万8,000円引き上げ 48万4,000円

### 7月の月内建値平均は48万1,300円

三井金属鉱業は11日、電気亜鉛建値を1万8,000円引き上げの48万4,000円にすると発表、同日より実施した。7月の月内建値平均は48万1,300円。

9日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は3,151.00ドル。11日の東京市場の米ドルTTSレートは137.47円。この値で換算した採算価格は、43万3,100円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万0,900円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

#### 2022年

2月… 469(1) 472(7) 478(10) 472(16) 469(22)	平均471.7
3月… 478(1) 517(4) 550(9) 502(14) 508(18)	平均524.0
4月… 571(1) 592(6) 598(11) 628(14) 652(20)	平均612.6
5月… 571(9) 532(12) 517(17) 529(20) 532(26)	

6月… 562(1) 565(7) 562(10) 532(15) 526(20)	平均535.5
7月… 484(1) 466(6) 484(11)	平均481.3




## 鉛滓・鉛管板屑

# 株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中 1-16-8  
 電話 06-6649-0045 代表  
 〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷 1-11-5  
 電話 06-6561-7331~2


**銅・アルミレポート**


橋本アルミ株式会社取締役  
**橋本 健一郎**



**6月のアルミ概況および7月の見通し (1)**

**予想レンジ**

LME 現物後場買い 2,100~2,400ドル 

スクラップ -5~-10円 (前月最終価格より) 

為替 133円~139円 (1か月間T T M) 円安

■国際概況

前半は在庫の減少が続くなか、需給引き締めり懸念が強まった。このことから買いの手が広がるなどのプラス材料もあったが、5月の米消費者物価指数(CPI)の強気な内容がFRBによる大幅利上げ観測を強めたことで、リスク回避の動きが続いた。これを嫌気しDOWN。

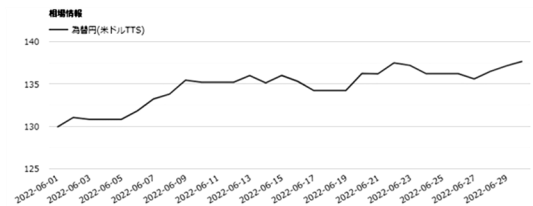
6月15日時点で2588ドル(セツル)と月初価格から228ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は、これまでの下落修正のための買い戻しが先行した。また、米株式市場の堅調な足取りなどのプラス材料はあったが、米消費者信頼感指数の弱気な内容や、これを受けた米株安、大幅利上げ継続の姿勢が米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長による議会証言で改めて示されたことなどを嫌気しDOWN。

6月末日 現在、後半スタート価格から128ドルDOWNの2452ドル

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)  
129.93 → 137.68 (円)



出典 MIRU

■国内指標

◆自動車生産台数

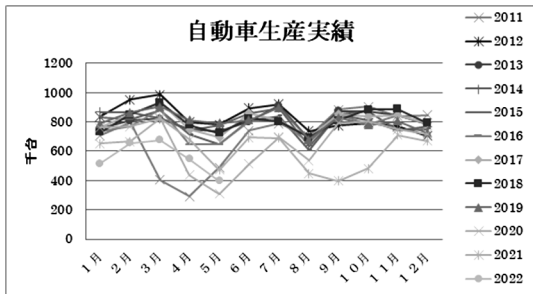
生産動態統計によると、5月の自動車生産台数は前年比-16%の39万6433台。輸出は、前年同月比-24.5%の18万7391台。

	3月	4月	5月
生産台数	67万62041台	54万8251台	39万6433台
前年比	-18.2%	-19.3%	-16%

◆自動車販売台数

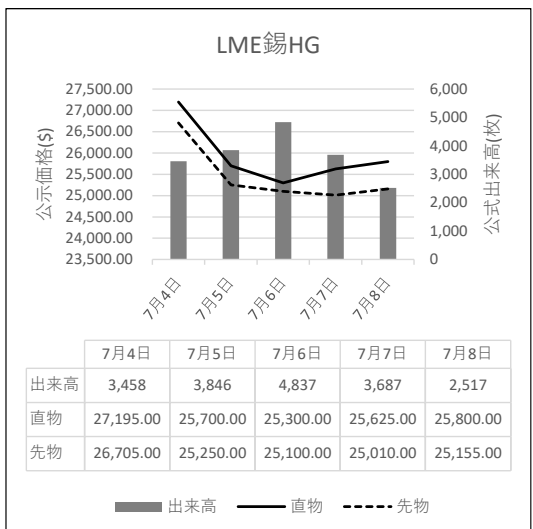
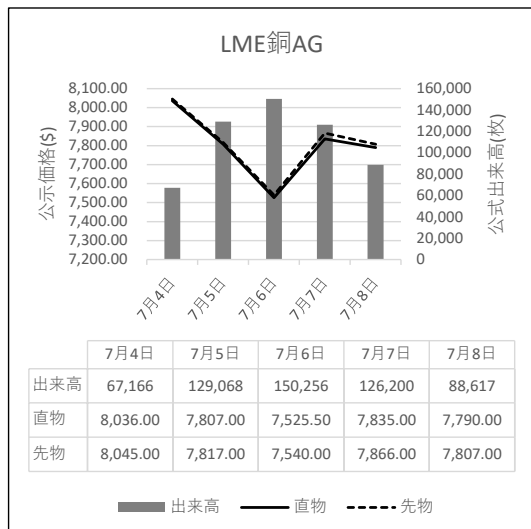
日本自動車販売協会連合会によると、6月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-15.8%の19万7530台。

	4月	5月	6月
販売台数	17万8761台	21万3699台	19万7530台
前年比	-15%	-18.6%	-15.8%



(次号につづく)

~ LME公式値週間推移 7月4日~7月8日(現地)



※ 7月8日の出来高は速報値です。



JOGMEC

(056)

## 迫る爆発的EV需要の顕在化

～中南米における中国・韓国企業の動向 (下)～

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構がこのほど公表した報告「中南米における中国・韓国企業の動向」。前回の〈上〉に続き、金属企画部調査課・小口朋恵氏の報告の抜粋・要約を紹介する。

### 4. アルゼンチン

現在操業中のリチウムプロジェクトは米と亜の2社で、チリとは異なり中国企業の存在感が目立つ。考えられるのは、リチウムは鉱業法で国内外問わずあらゆる民間企業が地方の鉱業権を介して期間等の条件無く開発可能なことである。政府は20年10月に「アルゼンチン鉱業開発戦略プラン」を発表。中国企業を歓迎する様子が窺える。以下はその例(一部)。

- 21年3月、Matias Kufas生産開発大臣と中・江蘇建康汽車有限公司幹部が面談、アルゼンチン国内でのLIB工場及び電気バス工場敷設に関する覚書に署名
- 22年2月、中・紫金鉱業集团股份有限公司、Tres Quebradasリチウムプロジェクトの炭酸リチウムプラント建設に380mUS\$投資と発表

### 5. ペルー

鉱産物の主要貿易相手国は中国となっており、存在感は絶大である。一方、中国企業が参入する鉱山や銅プロジェクトはあまり無い。中国は自らこれらの国で開発せずとも他社の生産物を継続的、安定的に購入できれば、敢えて参入する必要が無いと考えている可能性もある。国際銅研究会のデータによると、中国は自身がチリ、ペルーに次ぐ世界第3位の銅精鉱生産国である。但し、中国は国内の精鉱生産量を制限し、国内で増加する需要を賄うため精鉱の輸入量を増やしている。自国資源の保護政策から自給率を徐々に下げ、外国からの供給分を増やしているという実態が見える。

### 6. メキシコ

メキシコには、北部Sonora州を中心にリチウムの埋蔵が確認されており、その形態は主に粘土であるが、一部塩湖も存在するという。現状、プロジェクトとして最も進展しているのは、Ganfeng Lithium社(江西贛鋒鋳業股份有限公司)によるSonora州のBacanoraプロジェクトで、同プロジェクトが唯一開発段階にある。

### 7. ボリビア

ボリビアは国単独での開発を事実上断念し、19年8月、YLBは、2塩湖での独ACI Systems Alemania GmbH社及び中・特変電工股份有限公司と、リチウム開発に係る共同開発の契約を行った。21年4月、政府は各塩湖でのリチウム産業化プロセスを加速する技術的革新を目的とした「リチウムの直接抽出(EDL)に関する国際公示」を発表。これに20社が技術提案を提出し、その中から8社を選定、各社と覚

書を締結した。8社のうち4社が中国企業である。

### 8. エクアドル

エクアドルは、将来有望な「資源フロンティア」のひとつであり、19年、大規模鉱山が2件開山した。うちMirador銅鉱山は、銅陵有色金属集团有限公司が70%、中国鉄建株式有限公司が30%権益を保有するEcuacoriente社が操業している。大規模な露天掘り鉱山で、生産開始は19年7月、計画生産量は銅94千t/年、マインライフは30年とされている。

### 9. 韓国

中国・韓国企業の動向という名目であったが、韓国企業の存在感はほとんど感じられなかった。資源開発への積極姿勢が朴槿恵政権下で反転して以後、政府としての資源開発はその後みられていないのが現状。李明博政権時代までに苦心して獲得した鉱山も手放す方向とされ、中南米では、パナマCobre Panama銅鉱山は、KORESとLS Nikko社の韓国コンソーシアムが権益20%を保有していたが、17年、LS Nikko社は保有権益10%を売却して撤退、KORESも残り10%を19年に売却入札にかけたが失敗に終わっている。KORESが株式90%保有のBoleo銅鉱山も財政的損失で厳しい状況と報じられるなどしている。

### おわりに

- 銅、リチウムの原料調達で、南米にとって日本は重要な顧客だが、その輸出量のシェアは中国が圧倒的に大きく、リチウムの輸出量は日本よりも韓国の方が大きい。
- 20年後に予想されている莫大なリチウム需要に対する原料の手当てが現状見込めていない。最大の需要地である中国は原料確保に躍起になっているとみられ、調達地候補のひとつが南米となっている。
- 中国は南米各国で入札等に参加しているが、チリやペルーでの現行の銅・リチウムプロジェクトにおいて、中国の存在感は薄い。どちらも開発・生産は既に欧米や日本が握っており、中国に参入の余地が無いと考えられる。一方、中国は生産物を購入する最も重要な顧客。中国は自国でも銅精鉱や水酸化リチウムの生産がある中で、継続的かつ安定的に原料が購入できる状態であるなら、自ら様々なリスクや課題を克服して敢えて鉱山開発から参入する必要性を感じていない可能性がある。
- 中国は、リチウムでは、アルゼンチン・メキシコ・ボリビア、銅ではエクアドル等、これまでほとんど開発されてこなかった有望な国に進出している。既に開発が進んでいる国での存在感はあまり無いが、これから開発が見込まれる国へは積極的に参加している。

地球温暖化対策は「待ったなし」と言われ、これに貢献可能な金属は世界で取り合いとなっていて、隣国は素早い意思決定により中南米をはじめあらゆる地域に触手を伸ばしている。



### 故銅市況

前週末9日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場は、直物の前場売値が、前営業日の7,835.00ドルより45.00ドル安の7,790.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,818.50ドルより23.50ドル安の7,795.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,866.00ドルより59.00ドル安の7,807.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,822.50ドルより17.00ドル安の7,805.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の9月限は、前営業日の357.20セントより5.00セント安の352.20セント。SHFE（上海期貨交易所）銅相場の8月限は、前営業日の5万8,230元より1,460元高の5万9,690元。

週明け11日の東京為替市場TTSレートは、前週末の137.06円より0.41円の円安ドル高、1ドル=137.47円。9日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,790.00ドル。この値と11日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の111万1,000円より3,000円安の110万8,000円。この日、電気銅建値は110万円に引き上げられた。

#### 故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

（7月11日更新）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が846~851、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは811~816、並銅は776~786、込銅（高品位=約97%）は766、セパは635~640。コーベルは要り用筋で576、それ以外は561ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋586、それ以外556~566どころの値頃。並青銅鋳物削粉は679~684どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が826~846、上銅新くずが791~811、普通上銅が766~786、2号銅線が758~778、並銅が756~776、込銅（94-97%）が704、込銅（90-93%）が706、下銅が375~425、セパが600~635、コーベルが516~561、黄銅棒地が511~556、黄銅削粉が506~551、黄銅ラジが471~479、交叉ラジが439~496、黄銅銅鋳物が447~454、送りが297~316、上青銅鋳物が676~696、並青銅鋳物が656~671、上青銅鋳物削粉が671~691、並青銅鋳物削粉が646~666どころ。

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

[www.kimura-metal.co.jp](http://www.kimura-metal.co.jp)



QRコード

大阪市大正区



**木村金属株式会社**

**06-6552-7840**

#### 為替動向

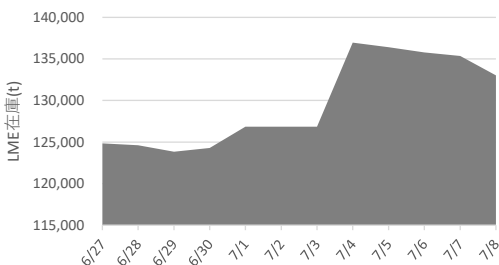
8日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0010ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0170ドル~1.0480ドルで推移した。欧州の主要株価指数が上昇。ユーロ買いドル売りが優勢となった。前日までにユーロ売りドル買いが進んでいたため持ち高調整のユーロ買いドル売りも入った。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0030ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2020ドル~1.2030ドルで推移した。

8日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.10円の円安ドル高、1ドル=136.05円~136.15円で取引を終えた。この日発表された米国の6月雇用統計は非農業部門雇用者数が前月と比べ37万2000人増と市場予想の25万人増も大きく上回った。平均時給も前年同月比で5.1%増と市場予想の5%をわずかながら上回り労働市場が強さを保っているとの受け止めから米国経済のリセッション懸念が緩和される。ドル買いが促された。

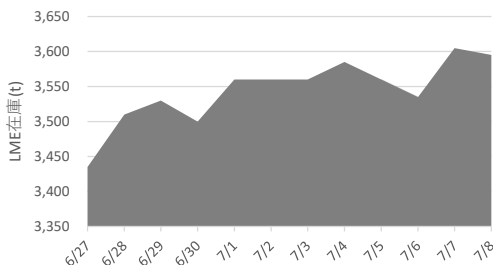
11日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前週末の17時と比べ0.43円の円安ドル高、1ドル=136.26円~136.28円だった。8日に発表された米国の6月雇用統計で労働市場の堅調さが示されたことでFRBが大幅な利上げを続けるとの観測が強まり長期金利が上昇。円売りドル買いが促進した。10日に投開票された参院選は自民党が改選議席の過半数の63を単独で確保し大勝した。日銀の大規模金融緩和と支持の議席が多数を獲得したことで米国との方向性の違いが改めて意識され、円売りドル買いを促した面もある。円は対ユーロでも下落。同じく1.28円の円安ユーロ高、1ユーロ=138.58円~138.61円だった。欧州の景気減速懸念から前週末まで円買いユーロ売りが進んでいたため、持ち高調整の円売りユーロ買いが進んだ。

#### LME認定倉庫在庫推移 6月27日~7月8日(現地)

銅



錫





LME銅相場は反落 直物終値は7,795.00ドル  
 COMEX銅相場も反落 SHFE銅相場は続伸  
 LME非鉄相場は総じて軟調 鉛直物は反落して約3%安



9日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、7月8日入電の7,835.00ドルより45.00ドル安の7,790.00ドル。反落して0.57%安。この週2.33%の下落。7月に入って5.52%の下落。3か月物の前場売値は、7月8日入電の7,866.00ドルより59.00ドル安の7,807.00ドル。反落して0.75%安。この週2.19%の下落。7月に入って5.31%の下落。LME公認倉庫の銅在庫は、現地7月7日の13万5,350トンより2,325トン減の13万3,025トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、7月限が、7月8日入電の358.20セントより5.00セント安の353.20セント。反落して1.40%安。この週2.40%の下落。7月に入って4.91%の下落。8月限は、7月8日入電の357.75セントより5.05セント安の352.70セント。反落して1.41%安。この週2.29%の下落。7月に入って5.00%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、7月限が、7月8日入電の5万8,430元より1,110元高の5万9,540元。2営業日の続伸で3.06%高。この週4.95%の下落。7月に入って7.36%の下落。中心限月に当たる8月限は、7月8日入電の5万8,230元より1,460元高の5万9,690元。2営業日の続伸で3.16%高。この週4.63%の下落。7月に入って7.02%の下落。

**錫は上伸**

LME錫相場の前場売値は、直物が、7月8日入電の2万5,625.00ドルより175.00ドル高の2万5,800.00ドル。2営業日の続伸で1.98%高。この週4.44%の下落。7月に入って4.62%の下落。3か月物の前場売値は、7月8日入電の2万5,010.00ドルより145.00ドル高の2万5,155.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.58%高。この週5.43%の下落。7月に入って5.79%の下落。LME公認倉庫の錫在庫は現地7月7日の3,605トンより10トン減の3,595トン。

**鉛は反落**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、7月8日入電の2,015.00ドルより67.00ドル安の1,948.00ドル。3営業日ぶりの反落で3.33%安。この週1.51%の上伸。7月に入って2.15%の上伸。3か月物の前場売値は、7月8日入電の2,000.00ドルより44.00ドル安の1,956.00ドル。3営業日ぶりの反落で2.20%安。この週2.35%の上伸。7月に入って1.98%の上伸。LME公認倉庫の鉛在庫は現地7月7日の3万9,350トンよりトン減の3万9,350トン。

**亜鉛も反落**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、7月8日入電の3,162.00ドルより11.00ドル安の3,151.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.35%安。この週0.83%の上伸。7月に入って3.09%の下落。3か月物の前場売値は、7月8日入電の3,105.00ドルより35.00ドル安の3,070.00ドル。反落して1.13%安。この週0.43%の上伸。7月に入って5.01%の下落。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地7月7日の8万3,025トンより150トン減の8万2,875トン。

**アルミも反落 アルミ合金は続伸 北米特殊はまちまち**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、7月8日入電の2,417.50ドルより18.00ドル安の2,399.50ドル。反落して0.74%安。この週0.65%の上伸。7月に入って0.10%の上伸。3か月物の前場売値は、7月8日入電の2,435.00ドルより20.50ドル安の2,414.50ドル。反落して0.84%安。この週0.60%の上伸。7月に入って0.27%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地7月7日の35万3,175トンより万6,000トン減の34万7,175トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、7月8日入電の1,560.00ドルより50.00ドル高の1,610.00ドル。2営業日の続伸で11.03%高。この週1.35%の下落。7月に入って16.15%の下落。3か月物の前場売値は、7月8日入電の1,560.00ドルより50.00ドル高の1,610.00ドル。2営業日の続伸で11.03%高。この週3.01%の下落。7月に入って16.15%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、7月8日入電の2,201.00ドルより1.00ドル安の2,200.00ドル。6営業日の続落で12.73%安。この週8.75%の下落。7月に入って12.73%の下落。3か月物の前場売値は、7月8日入電より横ばいの2,200.00ドル。この週8.33%の下落。7月に入って12.35%の下落。

**ニッケルは続落**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、7月8日入電の2万2,025.00ドルより770.00ドル安の2万1,255.00ドル。2営業日の続落で4.36%安。この週1.82%の下落。7月に入って7.99%の下落。3か月物の前場売値は、7月8日入電の2万2,150.00ドルより950.00ドル安の2万1,200.00ドル。2営業日の続落で4.72%安。この週2.30%の下落。7月に入って7.95%の下落。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地7月7日の6万5,718トンより288トン減の6万5,430トン。

LME公示価格(US\$)／7月8日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,790.00	25,800.00	1,948.00	3,151.00	2,399.50	1,610.00	2,200.00	21,255.00
	前営業日比	▲ 45.00	175.00	▲ 67.00	▲ 11.00	▲ 18.00	50.00	▲ 1.00	▲ 770.00
	週間増減比	▲ 2.33%	▲ 4.44%	1.51%	0.83%	0.65%	▲ 1.35%	▲ 8.75%	▲ 1.82%
先物	公示価格	7,807.00	25,155.00	1,956.00	3,070.00	2,414.50	1,610.00	2,200.00	21,200.00
	前営業日比	▲ 59.00	145.00	▲ 44.00	▲ 35.00	▲ 20.50	50.00	0.00	▲ 950.00
	週間増減比	▲ 2.19%	▲ 5.43%	2.35%	0.43%	0.60%	▲ 3.01%	▲ 8.33%	▲ 2.30%

海外非鉄金属相場

(7月9日 入電・現地 7月8日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 錫HG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 鉛, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: ニッケル, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: NYコモックス相場, 出来高, 7月限, 8月限, 9月限, 10月限, 11月限, 前日比, 出来高.

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Rows: フリー・マーケット, 米国生産者価格(地金).

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Rows: NY相場.

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Rows: ロンドン相場(ドル).

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Rows: KLT M錫(MYR/KG, 出来高トン).

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: LME在庫(トン).

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 上海在庫(トン).

Table with columns: 先物気配. Rows: LMEプレマーケット(ドル).

Table with columns: トン当たり円, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 上海相場.

Table with columns: 元・円=20.70. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

非鉄金属製品相場

(7月11日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◎ 1390	◎ 1410	亜鉛板0.3×3×7	620	620	<b>V V F</b>
建築用0.3ミリ	◎ 1440	◎ 1460	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	◎ 1520	◎ 1610	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	◎ 1750	◎ 1610	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1660	◎ 1520	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	◎ 1300	◎ 1380	<b>軽圧品</b>	大阪	東京	<b>I V</b>
銅条1.5×100	◎ 1355	◎ 1425	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 32.5~34.6
銅線0.9ミリ	◎ 1380	◎ 1440	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 88.9~94.5
銅帯6×50	◎ 1310	◎ 1380	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 222~236
銅平角線	◎ 1580	◎ 1610	〃 5052板	775	735	<b>CV-T</b>
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1165	◎ 1215	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1690~1797
〃 0.3ミリ	◎ 1195	◎ 1245	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2605~2769
黄銅大板2×1×2	◎ 1315	◎ 1395	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4376~4651
黄銅管	◎ 1815	◎ 1695	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2695~2860
復水器用黄銅管	◎ 1785	◎ 1665	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3771~4001
黄銅棒快削25ミリ	◎ 940	◆ 1020	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	<b>CVV</b> (関西-関東)
六角棒	◎ 970	◆ 1050	<b>貴金属(一般小口向け)</b>			3C×2 131-134
四角棒	◎ 1000	◆ 1080	白金(グラム)		◎ 4413	4C×2 176-180
鍛造用	◎ 980	◆ 1060	パラジウム(グラム)		◎ 10620	6C×2 250-256
ネーバル	◎ 1080	◆ 1160	金(グラム)		◎ 8445	7C×2 286-293
高力	◎ 1080	◆ 1160	銀(キログラム)		◎ 96030	<b>合金鉄</b> 5月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◎ 1340	◎ 1395	<b>レアメタル輸入価格</b> 5月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有 234
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1540	◎ 1605	金属ケイ素(99.99%未満)		525	〃 その他 339.9
黄銅条1.5×100	◎ 1160	◎ 1230	モリブデン酸化物		3934	フェロシリコン55%以上 316
リン青銅板一般用1.0ミリ	2750	2940	タンタル		59294	フェロクロム4%以上炭素含有 303.6
〃 バネ用0.3ミリ	3030	3230	マグネシウム		651	フェロモリブデン純分60%以上 4001
リン青銅棒25ミリ	2840	3050	コバルト		10348	フェロバナジウム 4803
リン青銅線3ミリ	3240	3450	インジウム		29785	フェロニッケル33%未満 982.8
洋白板一般用1.0ミリ	3790	3920				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3950	4070				

減摩合金	7月1日改定	銅合金地金	7月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5330	BC 1種	1290
2種	5170	2種	1635
3種	5000	3種	1725
4種	4385	6種	1415
5種	4210	7種	1525
7種	1415	YBSC 3種	1135
8種	1215	LBC 3種	1665
9種	1045	PBC 2種	1750



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月11日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		42,000 ~ 44,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1号銅線	◎1014	◎1010	電 気 銅	◆1057	◆1052	◆1059	◆1054	山元建値	電気銅	1100(11)	金	7,682(11)
2号銅線	◎962	—	電 気 亜 鉛	◎456	◎450	◎456	◎450	( ) 実施日	電気鉛	333(8)	銀	86,410(11)
上銅(新切)	◎985	◎975	蒸 留 亜 鉛	◎444	◎438	◎444	◎438		電気亜鉛	484(11)	錫(99.99%)	5,100(1)
雑ナゲット	◎835	◎839	再生ダイカスト亜鉛2種	◎373	◎367	◎373	◎367					
並銅	◎917	◎906	再生亜鉛(98%)	◎326	◎320	◎326	◎320					
下銅	◎898	◎879	電 気 鉛	306	303	306	303					
銅削粉	◎897	◎882	再 生 鉛 1 号	288	278	291	286					
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	293	289	296	292					
新切黄銅セバ	◎757	◎754	錫 1 号	3750	3700	3750	3700					
コーベル	◎724	◎712	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950	1900					
黄銅棒地	◎708	◎700	ニッケル(メッキ用)	3050	3000	3050	3000					
黄銅削粉	◎702	◎696	コ バ ル ト	◆10300	◆10000	◆10300	◆10000					
並黄銅	◎683	◎668	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900					
黄銅ラジエター	◎539	◎519	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250					
交叉ラジエター	◎633	◎614	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
黄銅鑄物	◎683	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580					
山送り(55%)	375	—	アルミ地金99.70%	◆376	◆372	◆378	◆374					
上青銅鑄物	◎771	—	アルミ二次地金99%	335	330	335	330					
並青銅鑄物	◎769	◎747	〃 90%	298	293	298	293					
上青銅鑄物削粉	◎764	—	アルミ二次合金ADC12	432	427	435	430					
並青銅鑄物削粉	◎754	◎735	鑄 物 用 C2BS	457	452	459	454					
新切リン青銅(伸銅)	—	◎994	青銅合金地金3種	◎1615	◎1605	◎1645	◎1635					
〃 (鑄物)	◎892	—	〃 6種	◎1325	◎1315	◎1335	◎1325					
リン青銅削粉	◎805	◎784	ハ ン ダ 錫 60 %	3555	3515	3575	3545					
新切洋白(電子材)	◎813	◎787	〃 50 %	3060	3010	3080	3050					
新切亜鉛	221	221	〃 40 %	2630	2570	2585	2555					
ダイカストくず	186	186	減 摩 合 金 2 種	5135	5105	5140	5110					
亜鉛ドロス	164	175	〃 4 種	4355	4330	4360	4330					
上鉛	144	142	〃 7 種	1395	1345	1395	1345					
電池素鉛ケース込	27	27	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		125	125					
活字鉛	129	126		〃 ダライ粉		110	110					
新切アルミ1級	242	244		高耐食ステンレスSUS316		300	300					
新切サッシ1級	242	242		耐熱ステンレスSUS310		515	515					
新切合金1級	227	222		13クローム 新切		29	33					
機械鑄物1級	150	155		ハイス 9種		220	220					
ビス付サッシP	173	170										
合金削粉P	95	100										
込ガラP	90	92										
カン・バラ	170	161										

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2207